

カフェのような、おしゃれな家に住んでみてはいかがい。オリジナルな家造りの一つとして「家カフェ」が目玉を集めている。南国のリゾートホテル風、欧風のシンブルでモダンなスタイル、まきストープを持つ北欧のログハウス風などテーマはさまざま。そんな部屋でコーヒーを飲みながら、家のイメージを膨らませ、実際に家造りに生かす人が増えている。

栄 住 良 衣

「群馬の代官山」とも呼ばれる前橋市川原町。カフェレストランと住宅展示場を兼ねた「家カフェ・ノルウェー・ジャンプ・オレスト」が今春オープンした。運営するキクカフホーム（前橋市表町、菊川好之社長）は、北欧産の無垢のバイン材を使った「素足の家」を提案する。一階にまきストープ、北欧の奥深い森林の中の一軒家をイメージした三階建てで素朴な造りになっている。

各部屋にはレトロ調のヨーロッパ風の家具を置く。気軽に足を運んで、お茶やコーヒーを飲みながらゆっくり家を見てもらいたい」（菊川社長）という。住まい造りの参



ワンランク上の住のトレンド

家カフェ

考に、建築雑誌を多数取りそろえる。見学も自由だ。二階には、リフォーム受け付け、住宅新築の相談コーナーもある。



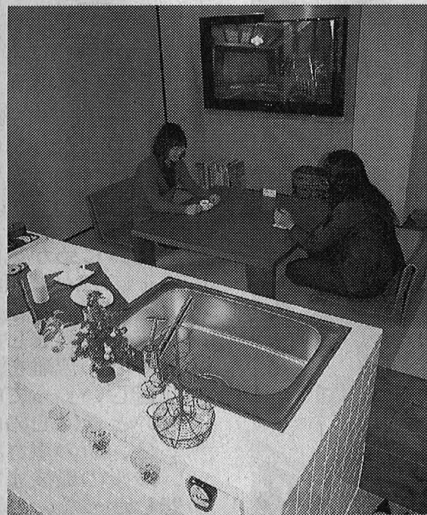
昨年八月にオープンした、太田市内ヶ島町の「家カフェ.com」（ドットコム）は、二階建ての建



物内にブレスで仕切られ、アジアリゾート、空間でコーヒーを飲むの「家カフェ」は、家造りを取り入れる人も増えている。

住まいの情報発信源

イメージ膨らむ顧客



住宅情報発信基地と位置付ける「家カフェ.com」。デザイン性の高さが売り



バイン材を使った自然なスタイルにした瀬川さん宅

北欧産のバイン材を使用した素足の家を提案する「家カフェ・ノルウェー・ジャンプ・オレスト」（社長）が運営する。顧客は千五百人を誇る登録デザイナー、建築家から自分の好みのデザインを選べる。大まかな要望を言えば、数人の建築家が「デザインコンペ」を行い、発注することもできる。

「家カフェ」は、家造りのための情報発信基地。同社は、土地探しの相談や、施工に関する情報が良かった。住んでみて、室内も暖かいし、住み心地も良いと語った。来店者には、カフェで見たと部屋を気に入り、住宅施工を発注する人も多いという。三浦社長は「家造りにはまず情報収集。住宅雑誌などを見て、住みたい家のイメージをはっきりさせてから、家造りに取り掛かってほしい」と呼び掛けた。



「家カフェ」のスタイルを、家造りに取り入れる人も増えている。

榛東村広馬場の瀬川潤さん（34）、知香さん（28）夫妻は先月、「家カフェ・ノルウェー・ジャンプ・オレスト」を気に入り、ノルウェー産のバイン材を使った家を新築。知香さんは「屋根を傾斜させ、

メモ

★家カフェ・ノルウェー・ジャンプ・オレスト イタリアアンレスタンを長く経営していたシェフのバスタも好評。まきストープ販売やコンサートも行う。店内は、靴を脱ぎ、スリッパをはかない素足スタイル。（☎027・260・1123）

★家カフェ.com デザイナーズ家具の販売、住宅見学会も行う。カフェは、代官山を1号店に全国展開するモトヤエスプレスのフランチャイズ店。（☎0276・30・2525）

（毎週日曜日掲載）